



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校
学校だより 5-11号
令和5年 9月14日
文責 校長 古賀 一英

中学生の未来に贈るコンサート

8月31日（木）午後、久留米シティプラザグラウンドホールで開催される「中学生の未来に贈るコンサート」に参加してきました。

生徒たちが知っている映画「スターウォーズ」メインテーマからスタートし、ベートーヴェンの「運命」等、フルオーケストラならではの迫力ある演奏に生徒たちは聞き入っていました。生徒たちの感想を紹介します。



浦川さん指揮者体験

（3年）すごい迫力だった。あんなに楽器がいっぱいあって、ごちゃごちゃしたりしないのかなと思ったけど1つ1つの楽器の音色が聞こえてきて映像や音で聞くより楽しかった。指揮者の動きも見れるので趣がある。ハンガリー舞曲は指揮する人によってテンポが変わって面白かった。臨機応変に対応できる奏者の人もすごいなと思った。やっぱり生で聞くのはいいなと感じた。

（2年）コンサートに行くのは初めてだったので、とても貴重な経験をさせてもらいました。それぞれの楽器は一つ一つ違う音が出ているけど、一つの音楽としてまとまっているのがすごいと思いました。ほとんどの曲は知っていたけど、生演奏を聴くと迫力や感じ方が違いました。聴いた後は鳥肌が立ちました。感動しました。

（1年）初めて生でオーケストラを聴いて、テレビなどとは違った迫力があり、胸が熱くなりました。そして、指揮者が代わると音楽がすごく変わることがわかりました。ほとんどの曲を知っていて、とても楽しかったです。また、とても感動しました。

ふれあい学級でつながる力を実感

9月5日（火）・6日（水）の1泊2日で、1学年は「ふれあい学級」を実施しました。

感染に伴う欠席が増加している状況で保護者の皆様にはご心配をおかけしたことと思います。

アドベンチャーウォークでは、雨に遭うハプニングなどもありましたが、スローガン「結束」のとおり、生徒と教職員が協力し様々な体験活動に取り組みました。これらの経験が、成長の糧となり、1年生たちが大きく飛躍してくれることを期待しています。



クラスマッチ

アドベンチャーウォーク

飯盒炊飯

美味しいカレーの昼食

職場体験で大きな成果

9月5日（火）・6日（水）の2日間、4年ぶりに2学年で職場体験を実施しました。学校とは違う環境の中で、緊張し悪戦苦闘したのではないかと思います。この経験が、生徒達の成長につながることを期待しています。生徒達の感想を紹介します。

- ・最初はとても緊張したけど、子どもたちが「遊ぼう、遊ぼう」と言ってくれてとてもうれしかったです。子どもたちが自分で掃除をとても上手にしていたことがすごいなと思いました。子どもたちが声をかけてくれたりしたので、その温かさに自信が持てました。（中原未彩：ひまわり保育園）
- ・仕事を覚えていくうちに、担当の方の指示がなくても自分から進んで、デザートを作ったり、料理を運んだりできたことが良かった。最初は、料理名を言う声が小さかったけど、たくさん運んだら、自然と声も大きくなって自信が持てました。（徳永滯：魚政）



1 学年英語科授業で英文を書く力を育むことに挑戦

2学期がスタートし、1学年の英語科の授業を浦田香代子先生が日野先生と協力し行っています。浦田先生は、3月まで本校で英語の授業や3学年主任をしていましたが、4月から1年間、福岡県教育センター長期派遣研修員として中学校外国語科学習指導の研究に取り組んでいます。現在、英文を書く力を育むことができる授業づくりの研究を行っています。それらの授業を通して、苦手克服のきっかけとなり英文を書く力が高まってくれることを期待しています。



本校の感染状況について

現在、福岡県内でも感染者数の増加が報告をされています。本校においても、インフルエンザを含む感染症による出席停止者数が増えています。9月5日・6日には1学年はふれあい学級、2学年は職場体験の行事を実施しましたが、参加できない生徒も出ました。5月に5類に移行され、「生徒の学びを止めない」とのことから、様々な措置が緩和されてきました。しかし、感染が確認されれば出席停止、拡大すれば学級閉鎖措置を取らざるを得ません。これからも、中体連大会や文化発表会、3学年はオープンスクール等、大切な行事等が続いていきますので、現状をしっかりと把握したうえでの、感染対策を心がけるようお子様にもお声掛けをお願いします。また、起床後の体調確認をしていただき、発熱等の症状がある場合は、リーバー等での連絡をお願いします。学校の方でも引き続き、手洗いや手指消毒等の感染対策について指導を継続して行っています。

卒業生からの寄贈

本校の卒業生である吉村防水工業（大善寺町宮本）代表取締役の吉村幸信様（昭和61年度第28回卒業生）から、朝日写真ニュース社の写真ニュースの1年間購読を寄贈されました。心より感謝申し上げます。

お礼の連絡をした際に、「卒業生でもあり後輩の役に立てれば」というお話をいただきました。生徒たちはさまざまな方々に見守られ、支えられていることを改めて感じました。そのよう思いを生徒たちにも伝えていきたいと思えます。